

## 絶滅危惧種

# アカモズに やさしい観察を



アカモズの繁殖地では、観察や撮影が原因で、親鳥が抱卵や給餌をやめてしまう事例が生じています。生息地は農地や住宅地であり、無断での立ち入りや駐車は地域への迷惑となります。アカモズを観察される際は、「観察マナー」を守ってください。

### 観察マナー

- 1 観察はアカモズから十分に距離を取り、短時間にとどめてください  
離れて観察していてもアカモズが警戒しているときは、その場から離れてください。長時間の観察行為により、天敵に巣の場所が見つかってしまうこともあります。
- 2 巣を見つけた場合、決して近づかないでください
- 3 農地や私有地へ立ち入らないでください
- 4 地域の方々の生活へ配慮してください  
路上駐車をしない、三脚を設置しない、住居近くで撮影しないなど、地域の生活を優先してください。地域の方や保護監視員からの指示があった場合は従ってください。

 こんなときは観察を止めて、その場を離れてください！

- アカモズがギチギチギチと激しく鳴く
- 尾羽を開閉させながら上下に振る
- 餌を啜えたままじっと動かない
- 近くまで寄っても逃げない
- 鳴きながら近寄ってくる

これらはアカモズが観察者を極めて強く警戒しており、抱卵の放棄やヒナの餓死を招きうる状況にあることを意味します。  
すぐに観察をやめて、その場を離れてください。



観察・撮影マナーを守っていただき、アカモズの保護にご協力をお願い致します。

## アカモズってどんな鳥？

**名称** アカモズ

**分類** スズメ目モズ科

**形態** 全長約20cm。頭から背中が赤茶色

**生態** 5～8月頃まで日本で繁殖し、冬は東南アジアで過ごします

**現状** 分布域は過去100年間で1割以下に減少し、現在は北海道と長野県に約200羽のみが確認されています

**保全状況** 長野県レッドリスト／絶滅危惧種 1B類 (2015)

**法的指定** 国／国内希少野生動植物種 (2021年1月指定)  
※種の保存法

長野県／長野県希少野生動植物種 (2025年1月指定)  
※長野県希少野生動植物保護条例



## 長野県でのアカモズの保護活動について

アカモズは種の保存法・県条例で保護が必要な種に指定され、官民共同で保護活動に取り組んでいます。

大学・保護団体の取組



農家の方々の協力



域外保全の取組



アカモズは絶滅の危険性が高く、生息地も限られている鳥です。様々な保護活動や思いによって、かろうじて存続してきました。アカモズへの負担を最小限にするため、観察の際には十分な配慮をお願い致します。



しあわせ信州

自然を守り  
共に生きる

〈お問い合わせ〉

長野県 環境部 自然保護課 生物多様性係／長野県環境保全研究所

TEL : 026-235-7178 / FAX : 026-235-7498 / E-mail : shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

〈協力〉

環境省信越自然環境事務所／長野アカモズ保全WGグループ／人間環境大学保全鳥類学研究室